





事業番号	10 04 03	事業改善シート（令和3年度実施事業分） □当初要求 ■当初予算案 □補正予算案 □点検			
事業名	森林病虫害防除事業費	部局	林務部	課・室	森林づくり推進課
		実施期間	S56 ~	E-mail	shinrin@pref.nagano.lg.jp
総合5か年計画(しあわせ信州創造プラン2.0)					
8つの重点目標	労働生産性				
総合的に展開する重点政策	2-4 収益性と創造性の高い農林業の推進		4-1 県土の強靱化		

1 現状と課題

目指す姿 これまでの取組	【目指す姿】 ・急峻で脆弱な県土における防災や、信州の原風景の保全上重要な役割を果たしているアカマツ林等を保全し、枯渇しつつあるアカマツ材やマツタケ等の林産物の確保を図るため、松くい虫等被害区域の拡大防止を図る 【これまでの取組】 ・予防対策（薬剤散布等） ・駆除対策（被害木の伐倒駆除）				
	令和2年度点検結果 現状分析	<table border="1"> <tr> <th>課 題</th> <th>今後の方向性</th> </tr> <tr> <td> ・予算、労務の制約から駆除対策に限界があることから、守るべき松林とその周辺に特化した対策が必要 ・松くい虫予防対策を実施するためには、地域住民との丁寧な合意形成が必要。 ・カシノナガキクイムシの被害が拡大したことによりライフライン等への倒木の危険が増大。 </td> <td> ・守るべき松林を一層絞り込み、選択と集中により予防対策と駆除対策を実施し、松くい虫防除対策を推進する。 ・ライフライン等に近接した広葉樹等の被害木の早期発見と適期の駆除を実施。 </td> </tr> </table>	課 題	今後の方向性	・予算、労務の制約から駆除対策に限界があることから、守るべき松林とその周辺に特化した対策が必要 ・松くい虫予防対策を実施するためには、地域住民との丁寧な合意形成が必要。 ・カシノナガキクイムシの被害が拡大したことによりライフライン等への倒木の危険が増大。
課 題	今後の方向性				
・予算、労務の制約から駆除対策に限界があることから、守るべき松林とその周辺に特化した対策が必要 ・松くい虫予防対策を実施するためには、地域住民との丁寧な合意形成が必要。 ・カシノナガキクイムシの被害が拡大したことによりライフライン等への倒木の危険が増大。	・守るべき松林を一層絞り込み、選択と集中により 予防対策 と 駆除対策 を実施し、松くい虫防除対策を推進する。 ・ライフライン等に近接した 広葉樹等の被害木の早期発見と適期の駆除 を実施。				

2 令和3年度事業内容

予算のポイント・主な取組(予定)	✓ 松くい虫防除対策を推進 予防対策（薬剤散布等） ・守るべき松林への空中散布等の実施 ・天然記念物や史跡名勝、文化財等に指定されている貴重な松林で樹幹注入の実施 駆除対策（被害木の伐倒駆除） ・被害を拡大させないために、被害木の伐倒駆除を実施 ・アカマツ被害木、枯損木等をチップ等にし、木質バイオマス発電への利用を促進（拡充）	 樹幹注入  伐倒駆除  木質バイオマス発電施設 土場
	✓ 広葉樹等の被害木の早期発見と適期の駆除 ・カシノナガキクイムシによる広葉樹被害の予防及び駆除対策  被害状況	

指標の状況及び目標値 [↑:改善、↓:悪化、→:変化なし]					事業コスト	区分(単位:千円)		
No	成果指標	H30年度	R1年度	R2年度末(見込)		R3年度目標値	R1年度	R2年度
1	対策対象松林の被害発生面積を70%以内に抑制	47%→	41%	↑	41%	→	70%	
2	カシノナガキクイムシ被害木の倒伏等による被害件数	0件→	0件	→	0件	→	0件	
3								
4								
5								
成果指標設定理由		1 「守るべき松林」「周辺松林」に指定した、松くい虫対策対象森林において、松くい虫被害にあった面積の割合を把握するための指標（過去最高の被害、H25の被害面積割合69%を目安に、目標値70%を設定） 2 カシノナガキクイムシ枯損木の倒伏等の被害を把握するための指標						

予算要求からの主な変更点	要求どおり
--------------	-------

事業名	森林病虫害防除事業費	部局	林務部	課・室	森林づくり推進課
-----	------------	----	-----	-----	----------

細事業 No.	細事業名	R 1 年度 当初予算	R 2 年度 当初予算	R 3 年度 当初予算	
1	松林健全化推進事業	222,692 千円	227,449 千円	要求 予算案	290,448 290,448 千円

No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和3年度 実施内容(予定)		
1	被害木調査及び駆除指導	直接	被害の早期発見と診断を実施し駆除等の技術指導を実施 【金額 532千円】		
2	被害木の駆除事業	補助金	被害木伐倒駆除（国庫4,806m ³ 県単2,232m ³ 計7,038m ³ ） 【補助総額 137,862千円】		
3	樹幹注入剤利用松林保全対策事業	補助金	特に重要な松林における薬剤樹幹注入 100本 【補助総額 937千円】		
4	薬剤散布事業	補助金	空中散布等に係る大気・水質調査8市町村190検体 無人ヘリコプター散布3市町46.5ha 空中薬剤散布8市町村213ha 他 【補助総額 24,033千円】		
5	環境影響調査委託費ほか	直接	空中薬剤散布(特別防除)の昆虫類、大気・土壌への影響調査を行う(一般競争入札) 【金額 5,170千円】		
6	松くい虫対策見える化・管理事業	直接	衛星画像からアカマツ枯損木を読み取り、被害状況を把握し被害状況マップを作成 【金額 1,114千円】		
7	松くい虫被害地森林経営管理対策支援事業	直接	森林経営管理権設定に向け、リモートセンシング技術を用いて、松くい虫被害レベルマップを作成 【補助総額 18,000千円】		
8	松くい虫被害市町村拡大防止事業	補助金	松くい虫未被害市町村での監視活動の強化と、被害木等の伐倒駆除を促進する取組に支援 【補助総額 2,800千円】		
9	森林病虫害被害枯損木利用事業	補助金	地域の課題である森林病虫害被害枯損木をチップ化し木質バイオマス燃料等に資源化する取組を支援 【補助総額 100,000千円】		

細事業 No.	細事業名	R 1 年度 当初予算	R 2 年度 当初予算	R 3 年度 当初予算	
2	広葉樹等枯損対策事業費	954 千円	1,620 千円	要求 予算案	13,575 13,575 千円

No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和3年度 実施内容(予定)		
1	被害木の駆除事業	補助金	被害木伐倒駆除（国庫484.70m ³ ） 【補助総額 13,575千円】		